



平成 21 年 1 月 26 日

各 位

会 社 名 キ ッ コ ー マ ン 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 染 谷 光 男
(コード番号 2801 東証・大証第1部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 広 報 ・ I R 部 長 中 村 隆 晴
(T E L . 0 3 - 5 5 2 1 - 5 8 1 1)

会社分割による持株会社制への移行に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、平成 21 年 10 月 1 日付(予定)で持株会社制に移行することを決議いたしました。持株会社制への移行方法及び移行後のグループ経営体制など、詳細事項については、今後の取締役会で決定次第、改めてお知らせいたします。

なお、持株会社制への移行は、平成 21 年 6 月下旬に開催予定の定時株主総会での承認及び所管官公庁の許認可等が得られることを条件に実施いたします。

記

1. 背景

当社は、高いクオリティの商品・サービスを提供していくことを経営理念に掲げ、「食と健康」の分野でのグローバルな事業展開を行ってまいりました。トップブランドであるキッコーマンしょうゆを始めとして、つゆ・たれ等のしょうゆ関連調味料や飲料・酒類・健康食品・バイオなどの事業を日本や北米、欧州、アジア・オセアニアなどの地域で展開するとともに、新たな市場の開拓を行っております。

今後のさらなる発展に向けて、昨年、当社グループの将来ビジョンとして「グローバルビジョン 2020」を定めました。このビジョンを実現するためには、持株会社が立案するグループ経営戦略の下に、各事業会社が価値創造力を更に強化し、グループ全体の企業価値を最大化できる経営体制を構築することが必要であると考えております。このような観点から、当社はグループ経営体制を持株会社制に移行することといたしました。

2. 目的

当社グループが今後の成長戦略を支える経営体制として持株会社制に移行する目的は以下の通りです。

(1) グループ戦略機能の強化

持株会社制に移行することで、グループ経営戦略の立案機能を強化するとともに、グループ経営資源の配分を最適化します。

(2) 各事業会社の価値創造力強化

各事業会社は、グループ経営戦略に基づき、それぞれの権限と責任の下、担当する事業に特化し、価値ある商品・サービスの提供を行います。

(3) グループシナジーの発揮

持株会社を核にグループの持つ人材・技術・ノウハウ等を横断的に活用することでグループシナジーを発揮します。

3. 持株会社制への移行の方法について

(1) 当社を分割会社とする会社分割により、食品製造・販売事業等、飲料事業及び経理・人事等の間接業務を、それぞれ3つの事業会社に承継いたします。なお、会社分割の方式等の詳細については、今後決定次第、改めてお知らせいたします。

(2) 当社は、各事業会社の持株会社となり、グループ戦略機能及び事業会社の統括管理機能を担ってまいります。

(3) 当社は持株会社として引き続き上場を継続し、現在の当社子会社は、基本的に持株会社の子会社となる予定です。なお、グループ経営体制の詳細については、今後決定次第、改めてお知らせいたします。

4. 今後の予定

平成 21 年 4 月下旬（予定） 会社分割決議取締役会

平成 21 年 6 月下旬（予定） 会社分割承認株主総会

平成 21 年 10 月 1 日（予定） 分割の効力発生日及び分割登記

以上